

県立始良病院情報誌 第83号 (令和8年4月)

やすらぎ

病院理念 ～ 安らぎと幸せを ～



CONTENTS

- 1 病院の理念
- 2 堀切副院長挨拶
- 3 活動報告（2病棟）
- 4 リハビリテーション部門 作業療法 活動報告
- 5 デイケア活動報告
- 6 薬局情報
- 7 外来患者満足度・待ち時間調査、入院患者満足度調査、嗜好調査
- 8 退職者からの寄稿（山畑前院長、西元前看護部長）
- 9 リレー随筆（3病棟）
- 10 外来受診案内・病院案内

病院の理念

『安らぎと幸せを』

病院の基本方針

- 1 本県における精神科医療の基幹病院としての役割を果たします。
- 2 患者さんの安全と人権に配慮したチーム医療を提供し、早期の地域移行・地域定着を目指します。
- 3 自己研鑽に努めるとともに、医療従事者の研修の場としての役割を果たし、精神科医療水準の向上を目指します。
- 4 公共性を確保するとともに、効率的な病院経営を行い経営安定化を目指します。

患者憲章

- 1 患者さんは、だれでも一人の人間として尊重され、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さんは、病気や治療方針などについて、理解しやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
- 3 医療の過程で得られた患者さんの個人情報を守られます。
- 4 患者さんは、研究途上にある治療を受ける場合は、前もって治療内容について十分な説明を受ける権利があります。
- 5 患者さんは、病院内の他の患者さんの治療に支障を与えないよう配慮する責務があります。

「ど、ど、ど、どういうことだ！」

副院長 堀切 靖

長きにわたって始良病院に勤務され、副院長や院長として始良病院の発展に大きく寄与された山畑院長が退職されました。上山院長時代から、山畑先生とともに始良病院を支えてきたと自負している私としましては、次の院長は当然私だろうと思っていました。しかし、蓋を開けてみると、何ということでしょう。副院長のままだった。

ど、ど、ど、どういうことだ！

スタッフからも、「院長になれなくて残念だったねえ。可哀想に」と言われ。

年功序列なのかなあ。

頑張ってきたのになあ。

では、どうして院長になれなかったのか、よく考えてみよう。

そのために、まず山畑先生が何をしていたのか振り返ってみて、自分にできるのかどうか、よく考えてみよう。

- ① 広い院長室で、ゆっくりコーヒーを飲みながら新聞を見たり、テレビを見たり…いいねえ。優雅だなあ。でも俺のキャラじゃないな。
- ② 朝、早く出勤して、各病棟の隔離室を中心に回診する…ちょっと朝早いのは苦手だし。毎日は面倒くさいなあ。
- ③ 職員全員の名前と顔を覚えている…そんなの無理、無理。そんな記憶力ないもん。
- ④ 病院内を良く見て回り、どこか修繕した方が良い所はないか、改築した方が良い所はないか見て回る…うーん、これも苦手だなあ。
- ⑤ 始良病院の歴史を熟知し、今後の始良病院の果たす役割を考える。経営的にもなるべく黒字になるように考える。それを職員に時に叱咤し、時に褒めたりして指導していく…げっ！急に難易度が上がったぞ。うーん、褒めるのはいいけど、叱咤激励は今ひとつ苦手だなあ。
- ⑥ 会議が多い。講演も多い。対外的な交渉もある…それ全部、俺の嫌いなやつじゃん。
- ⑦ 公務員というものを知り、どうやって、どのタイミングで組織を動かしていくか作戦を練る…分からん。

あれっ？全然、できないじゃん。そ、そ、そ、そういうことか！

やっぱ院長は無理だわ。さすが病院局の人事の人たちは良く分かっとる。

まっ、しょうがない。このまま副院長で頑張ろう。

それに、副院長にもなれない和田っちに比べれば、まだまだよね！へっ！

2 病棟 活動 報告

2 病棟のご紹介

昨年3月に旧6病棟から現2病棟に移動し、この1年間をかけて急性期病棟として動き出す準備をしてきました。これまでは、高齢者や慢性期の患者さんが多い病棟でしたが、いまでは学童期から最高100歳の患者さんまで入院する病棟となり、毎日がとても賑やかな病棟です。これだけ幅広い年代がひとつの病棟で生活する上では、さまざまな配慮が必要であり、スタッフは日々、患者さんが安全に安心して入院生活を送れることを目指しています。そのうえで、早期の退院や地域移行を目標として、それぞれの治療課題や生活上の困りごとに対して、患者さんと取り組むようにしています。

リハビリ活動

日頃、病棟内外でリハビリスタッフと活動を行っています。それぞれのペースに合わせながら、卓球やカラオケ大会、テレビゲーム、棒体操、習字、勉強など、楽しく活動を行っています。児童・思春期患者も多く、体を動かす活動等を賑やかに楽しんでいます。また、イベント活動など楽しい時間を過ごすことができました。



クリスマスツリー作成

それらの活動の一部を紹介します。12月上旬、入院中の児童・思春期患者らを中心にクリスマスツリーの作成をしました。参加者自らが主体となり、協力しながら活動している様子が見られました。「これ可愛い」「楽しい」「ここは私がやりたい」等の言葉が聞かれ、みんなの笑顔がみられました。多くの患者が参加することができ楽しい活動になりました。



まなびやししゃべりば が行われました！

令和8年2月20日(金)に、まなびやししゃべりばが開催されました。

今回のテーマは『退院後の生活について』で、始良病院デイケアの利用者さま2名が、当事者としてお題に沿って、経験談や思いを話してくださいました。20名近くの入院患者さんが参加され、真剣に話を聞き、多くの質問がありました。

お話をくださったデイケア利用者さま、ありがとうございました！



Q 入院生活を振り返って、役立ったことは？
・人付き合いを学んだ。

Q 薬の付き合い方は？
・お薬カレンダーを使って、決まった量、回数を1日も残さない様になっている。

Q 退院後の生活はイメージしたものと同じだったか？
・今は予定通りになってはきたが、努力しないとできないなと思っている。
・学生の頃とは違って、社会は世知辛いなと思った。

Q 調子が悪かった時のことを、今はどう思う？

- ・自分では気付いてないけど、他人に迷惑をかけていた。反省しています。
- ・突然イライラしてしまった。今は仕事をしているので、落ち着いて周りの人と付き合っている。

Q 入院中に準備しておいた方がよいと思うことは？

- ・入院中は心にゆとりを持ち、栄養をつけておく。
- ・お薬カレンダーを使って、服薬の管理を自分で身につけておく。



デイケア活動報告

デイケア活動プログラム

(プログラム内容は毎月変わります)

*プログラムは利用者さん
で組み立てています。

デイケアの概要

	月	火	水	木	金	土	日
午前						1	1
午後							
	2	3	4	5	6	7	8
午前	風船バレー	ひな祭りゲーム	ひな祭りゲーム	ポッチャ	お手玉カーリング		
午後	プログラム作成 手芸・クラフト	プログラム作成 フリータイム	プログラム作成 クラブ活動	プログラム作成 手芸・クラフト	プログラム作成 健康体操・園芸		
	9	10	11	12	13	14	15
午前	ナイスイン	卓上ホッケー	ポッチャ	風船バレー	ソフトグラウンドゴルフ		
午後	フリータイム	SST 手芸・クラフト	フリータイム (調理活動)	健康体操・園芸	クラブ活動		
	16	17	18	19	20	21	22
午前	ポッチャ	グランドゴルフ (体育館)	ナイスイン	散歩(なぎさ公園) 雨天時:卓上ホッケー	春分の日		
午後	クラブ活動	平松クリーンアップ倶楽部 (クリクラ)	健康体操・園芸	フリータイム			
	23	24	25	26	27	28	29
午前	お手玉カーリング	室内スポーツ	じゃんけんサッカー	ピンポウリング	ポッチャ		
午後	健康体操・園芸	SST クラブ活動	手芸・クラフト	ヨガストレッチ クラブ活動	フリータイム		
	30	31					
午前	じゃんけんサッカー	風船バレー					
午後	フリータイム	健康体操・園芸					

*毎週月～金曜日(祝日を除く)

時間:9:30～15:30

場所:デイケア室

デイケアでは、様々な活動を通して

♪毎日の生活リズムを身につけたい

♪話し相手や仲間をみつけない

♪社会との付き合い方を身につけたい

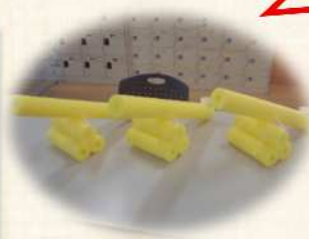
♪何かを始める準備をしたい

といった、皆さんの自己実現を応援し、

一緒に考える場にしていきたいと考えて

ています。

活動の様子



新兵器登場!!
OT スタッフのお手製です。活動の中でどんどん使っていきます。



ちゃんこ鍋作り

節分ゲーム



毎年恒例のちゃんこ鍋作り。今年は『塩ちゃんこ』に挑戦。お世話になっている先生方にも味をみていただきました。



薬 局 情 報

～精神科の薬について～

精神科ではいわゆる心の病気の治療を行います。その治療は薬物療法と心理社会的支援を組み合わせて行われます。

精神科の薬は、脳の働きや神経伝達物質のバランスを整えることで、気分・思考・行動の安定を助ける薬です。症状や目的によって種類が大きく分かれ、それぞれ役割や注意点が異なります。

主な薬の種類と役割

- **抗うつ薬** — うつ病や不安障害に使われます。気分の落ち込み、意欲低下、不安などを改善しますが、効果が出るまで数週間かかることもあります。
- **抗不安薬** — 強い不安や緊張を和らげます。即効性がありますが、長期連用には注意が必要とされています。
- **抗精神病薬** — 幻覚・妄想・興奮などの症状を抑えます。統合失調症や双極性障害の治療に用いられます。最近は副作用の少ない「第二世代」が主流です。
- **気分安定薬** — 気分の波が大きい状態を整えます。双極性障害の躁状態・うつ状態の再発予防に使われます。
- **睡眠薬** — 不眠症状を改善します。種類により作用時間が異なり、症状に合わせて選ばれます。

服薬の基本的な考え

- **医師の指示に従うことが重要** ⇒ 自己判断で増減・中止すると症状悪化や副作用のリスクが高まります。
- **効果は徐々に現れる** ⇒ 特に抗うつ薬は即効性がないため、継続が必要です。
- **副作用は個人差が大きい** ⇒ 眠気、口の渇き、体重変化などがみられることがありますが、減量などの調整で改善する場合があります。
- **長期的な治療が必要な場合がある** ⇒ 再発予防のため、症状が落ち着いても一定期間の服薬が推奨されています。

安全に治療を続けるため

- 気になる症状や副作用は早めに医師へ伝えましょう。
- 生活リズム、睡眠、ストレス管理も治療の重要な一部となります。
- 他の薬やサプリとの飲み合わせに注意が必要な場合があります。

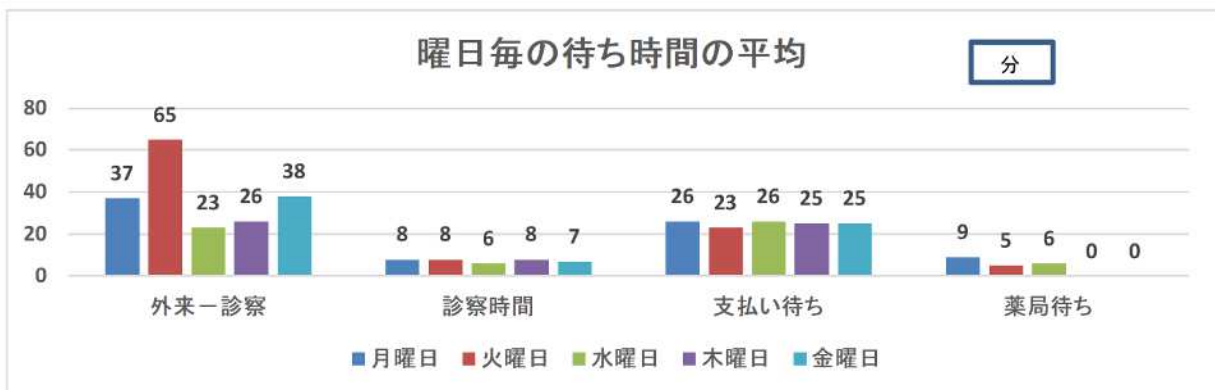
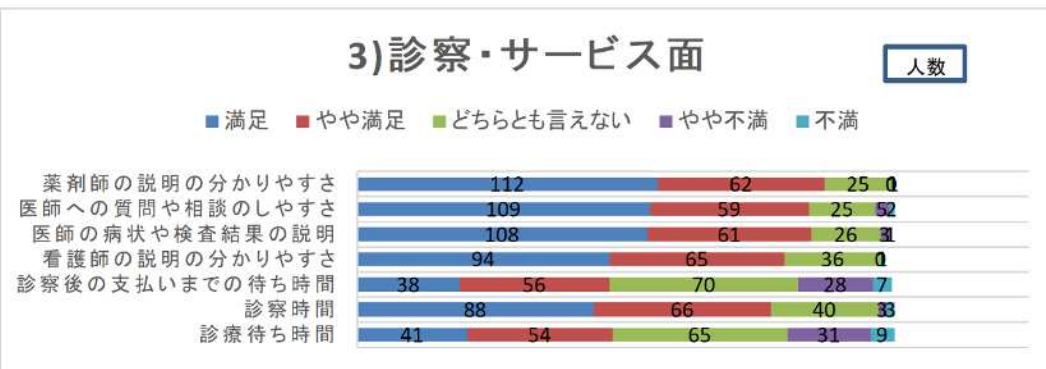
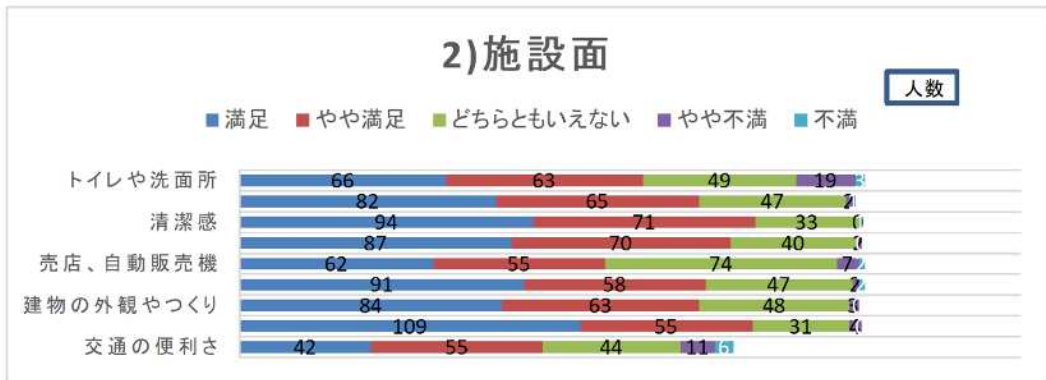
精神科の薬は、脳の働きや神経伝達物質のバランスを整えることで、気分・思考・行動の安定を助ける薬です。症状や目的によって種類が大きく分かれ、それぞれ役割や注意点が異なります。気になる点があれば、必ず医師や薬剤師に相談することが大切です。

～令和7年度 外来患者満足度・待ち時間調査を実施しました～

満足度・待ち時間調査実施期間: 令和7年9月11日～10月10日

満足度調査対象者: 200名 待ち時間調査対象者: 200名 (回収率: 100%)

《外来満足度 調査結果》



【自由意見を踏まえた総評】

- 施設面、接遇面、診察面全般的に満足・やや満足の意見を頂いております。
- 待ち時間に関してのご意見もたくさん頂いており、改善策を考えていきたいと思っております。
- 売店の品揃えやトイレの数など施設面への意見も多く、管理者に相談し検討していく予定です。
- デイケア作品の展示に対して、とても素晴らしく楽しみにしていると嬉しいご意見を多くの方から頂きました。
- 今後は、患者満足度が100%に近づけるよう職員一同努めていきたいと思っております。

令和7年度 入院患者満足度調査を実施しました。

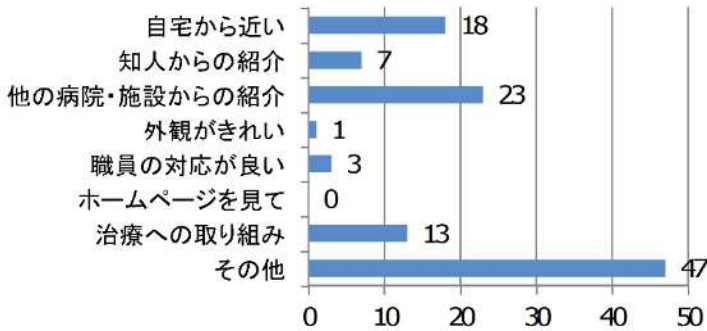
アンケート実施期間: 令和7年10月1日～12月31日

アンケート対象者数: 122名

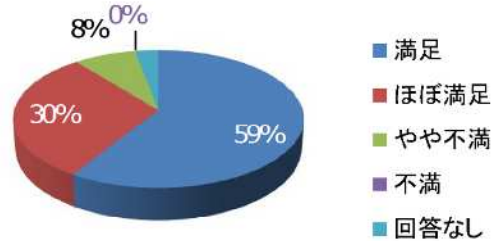
(回収率100% 有効回答数110名 有効回答率90.1%)

《調査結果》

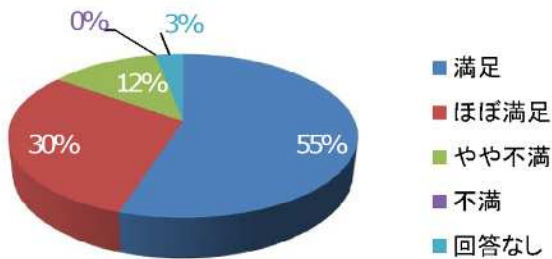
【当院選んだ理由】



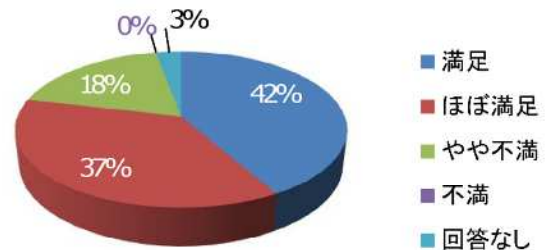
【プライバシー】



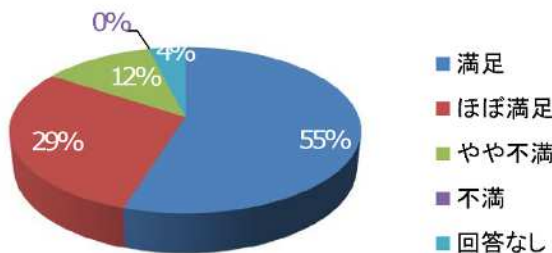
【病院の設備】



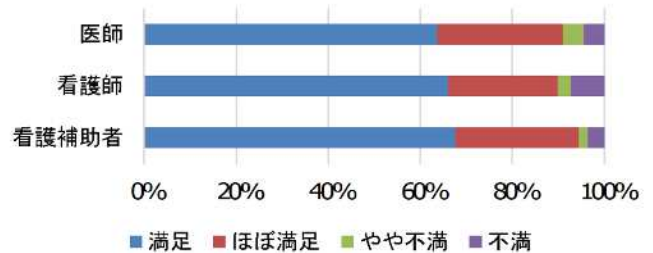
【病棟の雰囲気】



【病気・治療の説明】



【職員の接遇】



自由意見を踏まえた総評

職員の接遇に対しては全体的に評価は良かった。一方で対応に不満を抱いている方も見受けられ、研修の継続等、今後も接遇に関する配慮を職員に求めていく必要がある。病棟への持ち込み品、特にスマートフォンに関する使用希望が多くみられた。また禁煙パイポやインスタント麺など、使用不可の理由が分からないとの意見もみられ、使用できない理由を明確に説明できることが求められており、時代に即した対応・説明を行うことが出来るよう改善していく必要がある。

病棟の雰囲気に関しては、年代の異なる患者間で不満を感じていることが多く見受けられた。本来の目的である療養を行うことが出来るよう環境への配慮を十分行っていく必要がある。

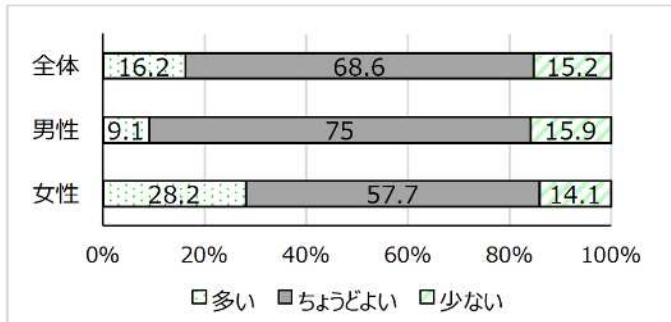
食事に関しては、年代によって味付けを変えて欲しい等の意見がみられていた。様々な年代の患者が入院している現状の中で、即時に対応は困難であるが、出来ることを探していく必要がある。

作業療法に関しては、種目や頻度の見直しを求める意見がみられていた。また職員が不在となる週末の過ごし方に関して、対応できることを模索していくことが求められていた。

令和7年度嗜好調査結果

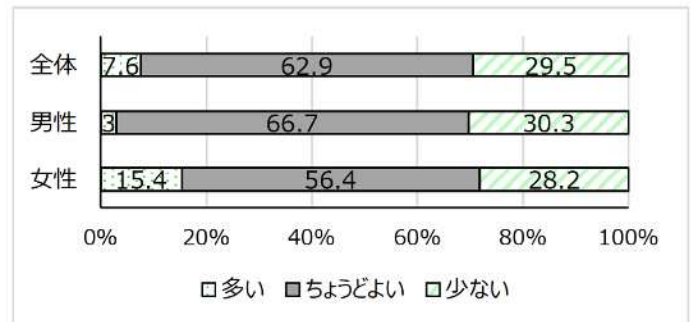
- 1 実施期間 令和7年9月1日（月）～ 9月7日（日）
- 2 対象者 令和7年9月1日時点で入院していた患者
- 3 回収率 対象者数：254人，回収数：211人，回収率：83.1%
- 4 調査結果

（1）主食の量について



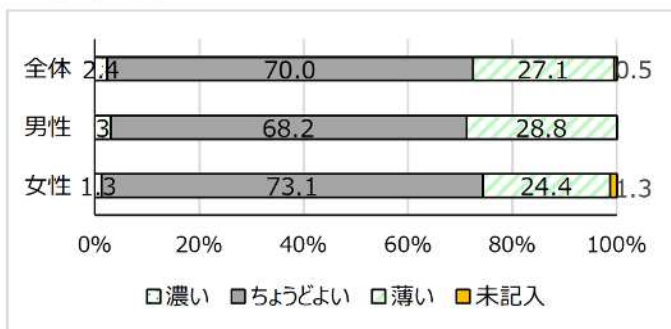
全体の約7割が「ちょうどよい」と回答した。

（2）おかずの量について



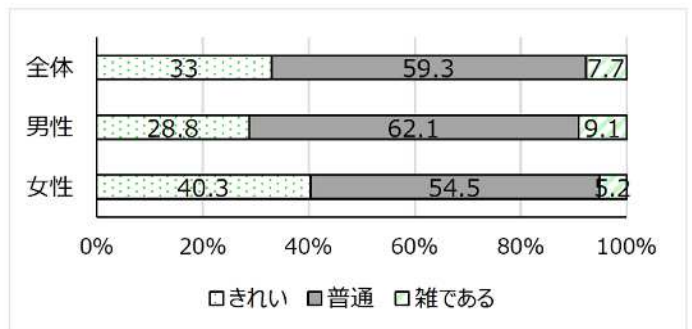
全体の約6割が「ちょうどよい」と回答した。

（3）味付けについて



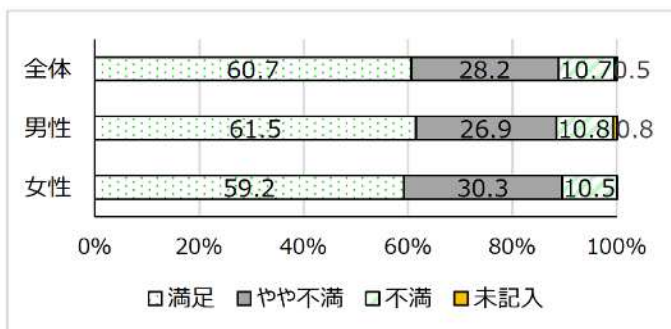
全体の約7割が「ちょうどよい」と回答した。

（4）盛り付けについて



「きれい」、「普通」の回答がほとんどであるが、「雑である」という回答もあるため、今後ともきれいな盛り付けを心がけていきたい。

（5）食事の内容について



全体の約6割は「満足」と回答，約4割は「やや不満・不満」と回答した。

いただいた意見の中で，改善可能なものについては改善していきたい。

令和8年度末で退職された院長及び看護部長から、県立始良病院での思い出と、後に残る私たちへのエールを込めて寄稿していただきました。

病院の屋台骨として、日夜御尽力くださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

退職後の更なる御活躍を祈念いたします。

退職に寄せて

山畑 良蔵（前院長）

このたび定年を迎え、当院を退職することになりました。平成4年に当時の新里院長に声をかけていただき勤務を開始して34年間という長い年月を、この病院で職員の皆様とともに歩んでこられたことを心から幸せに思っております。精神科医療の現場では、喜びに満ちた時間もあれば困難や悩みに直面する場面もありました。しかし、そのたびに「やすらぎと幸せを」を理念に、生きづらさを抱える患者のために尽くす皆様の姿に励まされ、この病院は多くの人々の思いと努力によって支えられていると実感してきました。皆様と共に働けたことは、私にとって大きな誇りであり、かけがえのない思い出です。また、当院の運営に関して、県立病院局・各県立病院、県及び市町村、保健所、警察関係者、地域の皆様など多くの方々にご助言とご支援を頂いたことに深く感謝申し上げます。始良病院には鹿児島県の精神科医療を支える皆様があります。どうかこれからも、この病院を皆様の手で守り育てていってください。長い間、本当にありがとうございました。

感謝 感謝 感謝

西元 勝視（前看護部長）

鹿児島県に入職して35年間、多くの人に支えられ無事に退職を迎えられることに感謝いたします。初任地は、看護学生の時に実習やアルバイトでお世話になっておりました始良病院に赴任いたしました。当時を思い返すと鹿児島保養院の全面改築中で、配属先は男子閉鎖病棟の8病棟でした。閉鎖病棟ではありませんでしたが、集団で布引の滝、牟礼岡等への散歩やハイキング（登山？）、運動会、遠足などで患者さんと一緒に各イベントを楽しんだことが思い返されます。その後、北薩病院や薩南病院などに異動となり、異動先で色々な経験と学びをさせて頂きました。勤務地最後の始良病院に勤務する中では、医療観察法病棟の開棟やcovid-19の対応、急性期病棟移行準備などの機会に携わらせて頂きました。新たに創造することには、大変ではありましたが、多くの仲間と意見を交わしながら一つ一つ積み上げた事は、楽しくもありました。

好きな言葉の一つに「俯瞰」という言葉があります。好きになった時期は、分かりませんが異動を繰り返す中で、意味付けや役割、生かされていることなどを考えると色々な視点から物事を見れることにも繋がったのではないかと思います。

今まで生かされてきた中では、分岐点があり、選択の連続であると同時に多くの方々から支援して頂いたからこそ、今の私があると思います。人生の折り返しは過ぎていますが、ある意味楽しみながら第二の人生の物語を重ねていきたいと思っています。

最後にお一人お一人にお礼をお伝えしたいのですが、この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。感謝いたします。これからの皆様のご活躍と県立病院の発展をお祈り申し上げます。

リレー随筆（3病棟）

『妄想する』について

皆さま、お元気でしょうか。どこぞで、お世話になりましたかご存じの方もおられるでしょうか。精神科認定看護師、副看護師長でお世話になりました。本日は、連続随筆ということで、『妄想する』について考えてみたいと思います。皆さんが良く使っていると思う一般的？な妄想とは「スノーマンのラウルが突然私の前に来て壁ドンして顎くいてして来たらどうしよう。Σ(°▽°)ノキヤ」などのことを言うのでしょうか。そんな訳ないでしょうと直ぐに正気になって訂正できるでしょう。これを妄想と言っていると思います。精神的には、妄想とは訂正できない確信度の高い誤った事実を言います。本人にとっては、まぎれもない真実なのです。「お母さんは宇宙人に乗っ取られて今は火星人間になった。やっつけ無いと地球が破滅してしまう。僕は地球を守るために火星人間を殴らないといけない」などと荒唐無稽な内容の言動が続きます。この妄想は、全く訂正が出来ないので本人にとって事実として行動化してしまうのです。それが、病気の症状です。皆様の言っている妄想と、精神的な妄想とは、実は近いのです。行動化するかどうか訂正できるかできないかです。皆様も行動化しないように気を付けて生活しましょう。『憎くい旦那を〇〇しよう。滅滅滅』とは思っていないですよ。おーこわ。助けてー。これも、妄想かなー。スノーマンになりたい。

（3病棟 外園 広幸）

（編集後記）

梅が咲き、桜が咲き、季節も衣替えをするように春となりました。

皆さんも出会いや別れ、環境の変化の中で、それぞれ新年度をスタートさせていることと思います。変化への戸惑い、早く慣れたいという焦りが生じやすい時期ですので、くれぐれも体調や事故等に気をつけていただきたいと思います。

さて、当院では、永年にわたり、精神科医療機能の充実や地域連携の推進、人材の育成に努めてこられた山畑良蔵院長がこの3月に退任され、4月からは新たに畑幸宏先生（3月までは副院長兼医療安全管理室長兼地域医療連携室長）が当院6代院長に就任されました。

大きな変化ではありますが、新院長の下、引き続き、本県の精神科の中核的医療機関として、その役割をしっかりと果たしていきたいと思っております。

（総務課編集担当）

外来受診案内

外来診察時間・休診日

診療科	精神科、歯科（入院患者のみ）
受付時間	午前8時30分～午前11時00分
診療時間	午前8時30分～午後5時00分
休診日	土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）
急患	急患には、365日・24時間対応しています

外来診療担当医一覧

区分	再診		初診	
月曜日	足立	八坂	高森	新井
火曜日	西村	町	瀬戸下	上山
水曜日	新井	中村	町	西村
木曜日	瀬戸下	穂満	大迫	和田
金曜日	和田	田代	足立	中村

※ 学会出席や出張などのため、臨時に変更となることがあります。

もの忘れ外来（完全予約制）

もの忘れでお困りの方、家族からもの忘れが病気ではないかと心配されている方等を対象に、医師による診療や専門職員による相談を行い、かかりつけ医へ紹介するなど、本人・家族の支援を目的として実施しています。

〔実施内容〕

- ・毎週水曜日 午後1時～ 完全予約制（1日2人まで）
- ・事前に郵送する問診票に記入いただき、当日は詳しい聞き取りや検査（採血、頭部CT等）の後、医師による診察があります。

〔相談・予約窓口〕

地域医療連携室

